

中国の小学生

小学校の前で、放課の時間を待っている保護者たち

黄艶萍 2011年6月7日

中国にいる娘が通っている小学校の前の様子。わが子を迎えに来ている保護者たちは放課の時間を待っている。

彼たちは自転車、電動自転車、三輪車を交通手段として使っている。中国の小学生たち



中国のように列に並んで帰る

のではなく、保護者について帰るのです。だから、毎朝わが子を学校へ送ってあげる、午後学校へ迎えに行き帰るのが保護者の日課です。



すいせん図書

『中国語 はじめの一步』

ちくま新書 ¥660+ 木村英樹著

まえにも、すいせんしたことがあります。

はじめの一步という題にひっぱられて、ざっと読みとばしてはいけません。一般言語学の手法を利用して、かなり高度の内容をもっていますから。中国語の部分は声に出して。

第一章 プロローグ

第二章 世界のなかの中国語

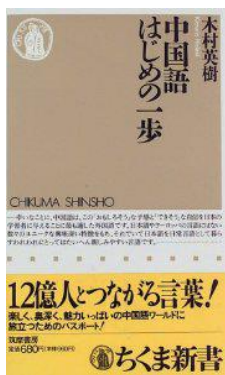
第三章 中国語の音

第四章 中国語の文学（文学は誤植・正しくは文字です）

第五章 中国語の語彙

第六章 中国語の文法

第七章 中国語のパフォーマンス



竹内和夫

あこがれの香格里拉(シャングリラ)

⑦

真田紀子



午後遅く、香格里拉へ到着です。標高3276mの高地です。すでに麗江から高山病対策としてダイアモックスを服用していましたが、以前経験したような頭痛や吐き気はありません。でも少し、平地とは違う息苦しさ、圧迫感があります。

夕食に向かう途中の繁華街で、この写真を撮りました。ヤクの頭骨です。ヤクの毛を使った筆もぶら下がっています。

六日目は、まず郊外にあるナパ海という湿地帯でミニハイキングです。そこに向かう途中、バスの前を羊が歩くというハプニングが起き、運転手とガイドはイライラしていましたが、私達は喜んで写真を撮らせていただきました。しかし羊の後をついて、のろのろ運転は田舎からの出来事ですね。羊は草原に放牧するために毎朝移動しているようで、途中で進路を変えることは難しいでしょう。

新しいお仲間紹介

「上海に転勤になった」
主人のこの一言から私たち家族と中国とのつながりが生まれました。

子どもの学校の事情で主人は単身赴任となりましたが、家族で何回か中国を訪れ、いろいろな観光地をみて回り、たくさん美味しい料理を食べて、今では家族そろって中国大ファンです。

次に中国に行ったときには「タクシーに一人で乗りたい」を目標に日中友好協会の講座で中国語の勉強を始めました。

中国語はとても難しく大変ですが、同じ講座のみなさんと一緒に楽しく学べるのがとても励みになります。日中友好新聞の読者にもなりました。

まだまだ中国初心者ですが、これからもよろしく願います。

中国語講座受講生 岡崎章恵

コンクールで最優秀賞

一倉敷の陳君(11歳)の感想

6月5日号の『日中友好新聞』に、今年の全国きりえコンクールの結果と評がのっています。指導されている堀本利子さんに、おねがいして陳君の写真と感想文を送っていただきました。



ぼくは初めてのコンクール出品で最優秀賞を受賞できてとても嬉しいです。この作品はすごく難易度が高かったのですが作りながら自分でも少しレベルアップしてきているように感じていました。また、この作品が完成したとき、周りの人たちから完成おめでとう。といつてもらえて、この作品を作った本当によかったと思いました。

もつと色々な作品をたくさん作っていきたくので、今この瞬間から、新たな作品作りに向けてがんばっていきたいと思います。どうもありがとうございます。

次回の新聞送付作業は7月1日(金)午後1時半、民主会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

葉吹井林田和
稲貝河小真竹内
西森

